NPO 法人 やまぼうし自然学校
ニューズレター

2012年度 夏号

震災から一年半。被災地の一日も早い復興を祈りながら、
一緒に、これからの生き方、暮らし方を見つめていきましょう。

うまい！うまい！うまい！　　(サマーキャンプ in 信州にて)

代表理事よりご挨拶*******

加々美貴代（がみちゃん）

お盆に、悲しい知らせが届いた。大学の恩師の訃報。このニューズレターをお送りすると、いつも素敵なハガキで励ましのコメントを寄せてくださり、穏やかなやさしい眼差して見守って下さっていた。森林と人との繋がり「文化」に重点をおいた研究と実践をされてきて、先生の周りには人が集まり、楽しい空気に包まれていた。先生から教えていただいた「預かり物」をこれからも多くの人に伝えていこうと心を新たにした。幸いにして、私には、やまぼうし自然学校という実践の場があるのだから。北村先生、ありがとうございました。

発行：特定非営利活動法人　やまぼうし自然学校
住所：〒386-2204　長野県上田市菅平高原 1223-5751
TEL：0268-74-2735　FAX：0268-74-2795
Email：info@yamaboushi.org URL：http://yamaboushi.org

６・７・８月の実施事業

■事務局

菅平カントリーフェスティバル（６月３日）、チーム腹時計（６月 10 日）、上田広域連合広域計画策定委員会（６月 14 日）、インタープリターリスクマネジメント研修会（６月 15 日）、長野県環境基本計画策定専門委員会（６月 19 日）、長野県学習旅行誘致推進協議会通常総会（６月 21 日）、信州森フェス（６月 20 日、７月１日）、CONE 指導者委員会（７月２日）、リラクオーレマルシェ（７月 15 日）、長野県職員平成 24 年度共感力向上研修受入（７月 31 日-８月２日、８月 17 日-19 日）

■森を楽しむ講座（東京）・やまぼうしインタープリター養成講座（長野）

森を楽しむ講座・森林インストラクター受験コース（６月２日、３日、30 日、７月１日、８月４日、５日）、森を楽しむ講座・森めぐりコース（６月 21 日、７月 19 日）、森を楽しむ講座・やまぼうしインタープリター養成コース（６月３日、７月１日）、やまぼうしインタープリター養成講座（７月４日、８日）

■体験学習

埼玉県立川口高校（６月１日、２日、３日）、鴻巣市立鴻巣中（６月１日、２日）、柏市立高柳中、葛飾区立一之台中（６月１日）、我孫子市立久寺家中（６月１日）、久喜市立菖蒲南中（６月２日）、我孫子市立湖北中（６月３日、４日）、穎明館中（６月５日）、品川区立大崎中（６月６日、７月５日）、品川区立荏原平塚学園（６月６日、７月３日）、流山市立八木中（６月６日、７日、８日）、柏市立柏第五中、流山市立東部中、大田区立大森東小（６月７日）、流山市立西初石中（６月７日、８日）、流山市立東部中（６月７日、９日）、流山市立川本中（６月８日、９日）、品川区立戸越台中（６月 11 日、12 日、18 日、19 日、20 日）、品川区立浜川中（６月 12 日）、太田市立韮川西小（６月 12 日、13 日）、ゆずりは学園（６月 13 日）、品川区立鈴ヶ森中（６月 18 日、20 日）、燕市立島上小、松戸市立新松戸南中（６月 20 日）、品川区立富士見台中（６月 21 日）、品川区立特別支援学級、すがだいら保育園（６月 28 日）、品川区立荏原第五中（７月２日、３日）、鶴ヶ島市立西中（７月３日）、国立音楽大学附属小（７月４日、５日）、品川区立豊葉の杜中（７月６日）、品川区立八潮学園（７月９日、10 日）、伊奈町立小針中（７月 11 日、12 日）、鶴ヶ島市立富士見中（７月 13 日）、駒込学園中（７月 16 日、18 日）、葛飾区立双葉中（７月 16 日）、桐光学園中（７月 17 日、18 日、19 日）、筑波大学附属中（７月 17 日）、普連土学園（７月 18 日、19 日）、安部学院高、所沢市立南小、東京学芸大附属世田谷中（７月 19 日）、所沢市立伸栄小、長野市立篠ノ井西中、所沢市立美原小、パール幼稚園（７月 20 日）、創価高（７月 21 日、22 日）、所沢市立中央小、所沢市立若松小、所沢市立並木小（７月 21 日）、所沢市立荒幡小、羽生市立須影小（７月 22 日、23 日）、所沢市立北秋津小、ふじみ野市立駒西小（７月 22 日）、光塩女子学院中高（７月 22 日、24 日、27 日、31 日、８月２日、５日）所沢市立北野小、熊谷市立久下小（７月 23 日、24 日）所沢市立西富小、所沢市立安松小、（７月 23 日）、所沢市立中富小、所沢市立小手指小、江戸川区立小岩第二中（７月 24 日）、川越市立霞ヶ関小、江戸川区立瑞江第三中、富士見市立諏訪小（７月 25 日）、羽生市立川俣小（７月 26 日、27 日）江戸川区立小岩第三中（７月 26 日）、所沢市立泉小、川越市立霞ヶ関南小、所沢市立上新井小、日本大学豊山女子中、

加須市立大桑小（７月 27 日）、所沢市立椿峰小、所沢市立山口小（７月 28 日）、早稲田大学（７月 28 日～８月２日）、城西川越中（７月 30 日、31 日）、女子学院中学校高等学校生物クラブ（７月 31 日）、江戸川区立鹿骨中（８月２日）、東京女子学園中（８月３日）、駿台学園高（８月５日、８日）、フリースクール坂本（８月 11 日）、日体荏原高（８月 26 日、28 日）

■森でモリモリ遊び隊／フォレストキッズ

春の遊び隊キャンプ（６月 23 日、24 日　遊び隊）、おさびし山ハイキング（６月 30 日　フォレストキッズ）、森遊び（７月７日　遊び隊）、自然の不思議探し（７月 14 日　フォレストキッズ）

■イベント

森あちょびクラブ（７月７日　長野）、陣馬山登山観察会（７月７日　東京）、夏のいつでもガイド（８月2日、13 日、15 日、24 日、25 日、26 日　長野）、やまぼうし原人キャンプ（８月 11 日～14 日　長野）

■委託

なごみ福祉会（６月２日　長野）、黒川青少年野外活動センターネイチャーボランティア（６月３日、７月１日、８月５日　東京）、神奈川シニア自然大学（６月５日、６日、19 日、20 日、７月３日、４日、10 日、31 日、８月１日）、信州アウトドアプロジェクト（６月７日　長野）、丸子北中コスモス大学（６月 14 日、26 日、７月 12 日、19 日　長野）、菅平コスモス会（６月 14 日　長野）、菅平スカイライントレイルランレース＆アウトドアミーティング（６月 17 日　長野）、筑波大学東日本大震災復興支援プロジェクト（６月 17 日　長野）、モンテッソーリスクール　オブ　トウキョウ（６月 19 日～22 日　長野）、上田市教育委員会　野外活動指導者養成講座（６月 23 日、７月 28 日、８月 11 日、25 日　長野）、トラベルマスターズ　四阿山～根子岳（６月 25 日　長野）、長和町福祉課　親子ふれあい教室（６月 27 日　長野）、ひろでん中国新聞社（６月 29 日、30 日　長野）、佐久山岳会（７月５日　長野）、霧ケ峰植物研究会霧ケ峰植生調査（７月６日、８月６日、27 日、28 日　長野）、カポニー産業株式会社カヤノ平法人の森ガイド、小諸ミズオオバコ保全会議（７月８日、８月 10 日　長野）、日本空手連盟志優会（７月 23 日　長野）、毎日ドットコム（７月 25 日　長野）、長野県学習旅行誘致推進協議会　サマーキャンプ in 信州（７月 30 日～８月 11 日、８月 14 日～23 日：３泊４日７コース）、長野朝日放送　NBS 親子自然体験教室（７月 31 日　長野）、青山サッカークラブ（８月１日　長野）、長野県北信・東信教育事務所　北信・東信地区公立小・中・特別支援学校初任者研修会（８月１日、２日　長野）、立教大学講座（８月３日　長野）、メガロススポーツクラブ（８月４日、５日　長野）、染屋の森セミの抜け殻調査（８月５日　長野）、上小林業振興会　上小地区緑の少年団指導者講座（８月８日　長野）、リソー教育　ライオンキャンプ（８月 12 日～22 日　長野）、別所温泉上松屋（８月 12 日、13 日　長野）、岡部本郷 SC（８月 13 日　長野）、エコギャラリー新宿　子ども樹木博士（８月 18 日　東京）、菅平小学校 PTA 峰の原支部（８月 20 日、21 日　長野）、国際自然大学校　開智学園きこり体験（８月 22 日　東京）上田市中央公民館　根子岳登山（８月 22 日　長野）、千曲市城腰自治会（８月 26 日　長野）

未来のタネ

自宅から歩いて５分ほどの小高い山裾で、８坪ほどの小さな畑をやっています。畑歴は約４年。知識は「小学生のアサガオ栽培」程度しかなく、始めたばかりの頃に立てた「毎日毎朝畑に行く」という目標はあっさりと覆され、「行ける時に行く」という、すっかりお天道様任せのゆるい畑です。

繁忙期の７月８月はほとんど行けず、夏の終わりに見に行ったら、腰の高さを優に超える雑草達がスクスクと育っておりました。すれ違う近所の畑のおじちゃん達にペコペコ頭を下げながらあわてて草刈りをしたのは、言うまでもありません。ふと気が付くと、オクラはキュウリほどのサイズになり果て、里芋やネギは隣りの畑の 1/2 程度の太さしかなく、白菜を播こうとしたら「もう遅すぎるさぁ～」と言われる始末。

９月に入りやっと落ち着いたお休みの日に、大根・小松菜・野沢菜の種を播きました。その後もサツマイモの蔓起こし、ネギの土寄せ、次の種蒔きのための肥料播きや耕しなど、秋の畑はやることがいっぱい。有り難いことに、今の環境は大先輩が周りにたくさんいます。みなさんに教えを乞いながら、少しずつ学んでいる毎日です。

それにしても、こんなイマドキの若い小娘が、泥だらけの長靴に軍手、首にはタオルを巻いて鍬を担ぐ姿は、どうしたってすれ違う人々に二度見されます。

「ひとりなのに、なんで畑なんかやってるの？」と、よく聞かれます。
様々な手間、時間を考えれば、買った方が安いかもしれません。それでもやっぱり続けようと思うのは、未来に残したいと思うものがあるからです。
この先自分が結婚をして、子どもができて、その孫ができて・・その時に、高価なおもちゃをプレゼントできたとしても、一本のニンジンの育て方も教えてあげられなかったら、何か物足りなさを感じるだろうなと思います。

本当のトマトは太陽の味がすること、採れたてのキュウリはトゲが針のようにチクチクすること、土は甘いにおいがすること・・そういう豊かさを、残してあげたいのです。

まだ何も育てたことがない方はぜひ、１粒の種を蒔いてみてください。そしてもう何年も育てている方はぜひ、１人でも多くの人にその楽しさを伝えてください。きっとその周りには、笑顔の芽が生えるでしょう。

文・吉岡　明美

東京支部イベントレポート

神奈川シニア自然大学校　公開講座

高尾自然観察会（12．7．10）

文・飯河　正

今回の自然観察会は、やまぼうし自然学校も運営に関わっている、神奈川シニア自然大学校の今年度一回目の公開講座として実施しました。自然ビギナー講座でますます仲間の絆を深めつつある受講生をはじめ、やまぼうしのイベント常連のお客様など総勢24名の参加者で、高尾山自然研究路６号路を賑やかに出発しました。

まずは多摩川の源流のひとつである前ノ沢に沿って、山頂に至るルートをのんびりと進みます。谷を覆う山の緑と清流のせせらぎに癒されます。耳を澄ますと河鹿の鳴き声も聞こえ、古くから山伏の修験道場であった高尾山らしく深山幽谷を感じさせる趣がありました。

途中、苔むした杉の大木、白い葉が太陽にきらきらと輝くマタタビが、目を楽しませてくれました。日中は厳しい暑さとなりましたが、沢に下りて冷たい水に手を浸すと，爽快な気分に。苔をまとうモミなどの巨木に見守られながら、根が這う道を行き、飛び石を伝わって沢を遡り、長い階段を喘ぎあえぎ登って山頂へ到着しました。

高尾山は、時を超えて多くの人々の信仰を集めた山。豊かな自然に囲まれた薬王院境内を散策し、歴史と文化に触れました。

昼食は高尾山薬王院大本坊の大広間で、旬の素材の味わいを最高に生かした精進料理を頂きました。四季にちなんだ、大地から採れた野菜は誠に美味！

解散地の霞台までの参道を歩くと、南斜面は、暖温帯の森林であり、モミ、カシなどの常緑広葉樹林を楽しみました。一方、北斜面は、冷温帯の森林で、ブナ、イヌブナ、イタヤカエデなどの落葉広葉樹林帯で、南斜面との樹木の違いを観察することが出来ました。

大変な暑さの中、特に山頂までの最後の階段の長い登りは大変でしたが、全員無事に歩くことが出来ました。これも、高尾山の護り神、飯縄（いづな）大権現のお陰でしょうか。最後には、霞台で遠く新宿のビル群も見渡せる眺望を満喫し、解散となりました。

10月には、東京湾で唯一の無人島「猿島」での観察会を予定しています。大都会東京のもつ自然の多様さを、ぜひ味わいに来て下さい。お待ちしています。

森でモリモリ遊び隊

７月７日　森遊び　カラフルなレインコートに変身して、雨の森を遊びつくしました。川ができ、トランポリンや橋ができ、ロープをよじ登り、ブランコも！

９月１日、２日　秋の遊び隊キャンプ　協力してテントをはったら、まずは沢を探検。縄文火熾しでつけた火種は、五右衛門風呂や料理はもちろん、聖火ランナーまで広がりました。

雨でも、雨だからこそ！森って楽しい。どろんこ大好き～。

炊飯場の柱や手すりも、みんなのアイディアで楽しい遊具に変身！

笑っちゃうくらいのどろんこっぷり。さすが遊び隊

上級生を先頭に、てきぱきとテントがたってびっくり…

五右衛門風呂、最高だ～。

あるものは、なんでも利用して楽しい道具になっちゃうよ！

フォレストキッズ

６月30日　おさびし山（加治丘陵～あけぼの子どもの森公園）ハイキング
低学年を励ましたり、リュックを持ってあげたり、みんなの優しさと頑張りにエールです。

７月14日　自然の不思議探し　航空記念館でプロペラは木の実がヒントになったことを知ったり、ワークショップでクラフトを作ったりしました。

明るい笑顔で「おさびし山」のハイキング

深い谷を下りていくと、目指すムーミン谷が広がる

ムーミン屋敷の探検も楽しかったです

地面で見つけたものは？

葉の裏までも見つける子どもたちの目。それとも嗅覚？

航空記念館の中でワークショップ

信州エコ大賞に選ばれました！

この度、社団法人　長野県環境環境保全協会が主催する「信州エコ大賞」を受賞し、加々美と長谷川の２名で授賞式に出席してきました。今年で１４回目の表彰となるこの賞は、長野県内に於いて環境保全に貢献した実績顕著な個人、団体、企業に贈られるものです。以って県民の環境保全の意識・活動を一層高めることを目的とした賞です。

受賞にあたっては、発足以来１０年間で、自然体験学習・環境教育プログラムの参加者が小学生から大学生まで約１５万人に達し、多彩な学習プログラムで森の大切さと重要性を訴え、環境保全に貢献していると評価していただきました。また、行政や他団体との連携・協働事業が増加傾向にあり、互いにプラス効果を享受している点、長野本校の事務所を構える菅平高原で、宿泊は現地宿泊施設を利用する等、地域への利益還元ができている点も高評価でした。また、指導者養成講座や継続的なスキルアップ講座の開催による指導者の質の向上に努めていることが、活動の継続性を支えていることも認めていただけました。

会員の皆さん、インタープリターの皆さん、地元の方々のご協力が、このような形で評価されたことを大変光栄に思います。受賞を励みに、さらに活動内容の充実を図り、森とつながる窓口、きっかけづくり屋としての役割を担っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

信州発全国アウトドア＆ネイチャーフェスタ 2012 in 信州白馬

「今こそ　外遊び！」

～子どもは今こそ外遊び　大人は出会って、遊び、語り合う３日間～

●主催●　信州発全国アウトドア＆ネイチャーフェスタ実行委員会

自然体験・アウトドア・環境教育等に関る（やまぼうし自然学校も！）実行委員会と参加者が情報発信をし、語り合い、学び合い、相互交流を図る全国規模のイベントです。

●開催日程　10月19日(金)13時　～　10月21日(日)13時

・１日目　全体会（講演会、ディスカッション、交流会）
・２日目　野外を中心とした体験活動（例:ノルディックウォーキング、ネイチャーゲーム、トレッキング、MTB ツーリング、野外保育体験、熱気球乗船体験　など）
・３日目　屋内分科会（例：観光業と体験活動、福島の子ども達と自然体験教育、自然エネルギー、自然学校と地域づくり、木育、広報、森のようちえん　など）

●開催場所　白馬五竜スキー場エスカルプラザ及び白馬村＆近隣市町村
●参加費　7,000 円（プログラム参加費、交流会費、昼食２回、保険代、資料代等）
●HP　http://www.facebook.com/shinsyufesta2012　最新情報をチェック！

やってみて！野外レシピ

○●　採れたてだからおいしさ倍増！　**ポテトサラダ**　○●

■つくりかた

1．やまぼうしの畑から、ジャガイモを掘り、キュウリをもぐ
2．菅平の冷たい水で土を洗い落とす
3．焚き火で湯を沸かし、ジャガイモを茹でる
4．やけどに気を付けながら、皮をむく（手に水をつけながらやるとよい）
5．皮にこびりついた実は、こっそり味見（これが実は一番おいしい！）
6．つぶして、マヨネーズと塩であえて出来上がり！

文化交流まちづくりプロジェクトに参加します

菅平高原のお隣の須坂市では、三浦市と姉妹都市として様々な交流事業をしています。御縁あって、その文化交流まちづくりプロジェクトに参加することになりました。やまぼうしとこのプロジェクトをつないでくださったのは、峰の原高原在住の元遊び隊隊員のご家族。この夏に、自治会の子ども達の１泊キャンププログラムをご依頼いただいた際に、このプロジェクトのお話をいただきました。実行委員会の方が、今年のサマーキャンプ in 信州のアシスタントとしても活躍してくれました。新しいつながりが、やまぼうしの可能性を広げてくれています。ずけちゃんと、三浦で握手！

「心あるところに、宝あり」心を失えば「忙しさ」が残り、心あれば「愉」「快」「情」・・・たくさんの宝、喜びが産まれてくると思います。どうぞ今回はちょっとだけ忙しさを忘れて、長野から届く森のじかんを愉快に楽しんでください。

（実行委員会からのメッセージより抜粋）

■ おもちゃ箱コンサート in 三浦　～森の時間をプレゼント～ ■

11月11日（日）　うらり２階　漁業プレイス＆デッキ

第一部　12:00～　森のめぐみのおはなし＆クラフト教室**（やまぼうし自然学校：ずけちゃん）**
第二部　14:00～　音のマジシャン　北沢マロ　おもちゃ箱コンサート

問合せ・申込み　電話 046-888-0866（三浦事務局）　takami1978@yahoo.co.jp（高見）

【東京支部】森を楽しむ講座レポート

当校の養成講座も開講以来 17 年目を迎えました。東京支部ではステップアップしつつチャレンジできるよう、入門編として＜都内森めぐりコース＞、当校のインタープリターを目指す＜養成コース＞、資格取得を目指す＜受験コース＞と３コースを開設しています。

資格編　実践編

■ 森林インストラクター受験コース ■
■ やまぼうしインタープリター養成コース ■

「森を楽しむ講座」森林インストラクター受験コース第 10 回とやまぼうしインタープリター養成コース第６回講座を、７月１日に川崎市の黒川青少年野外活動センターで開催しました。

今回の講義はキャンピング実技を主題としたもので、青竹ご飯やドラム缶ピザなどの野外料理、テントの設営・撤収と関連ロープワーク、自然素材クラフト作りなどの実技を行いました。１５名の受講生の皆さんは、暑い中での焚き火など奮闘し青竹ご飯では全数うまく炊くことができました。

やまぼうしインタープリター養成コースは今回で全６回を終了し、修了証の授与も行いました。受講生の皆さんお疲れさまでした。

このニューズレターが届くころには、森林インストラクター試験の第一次試験が終わっています。吉報をお待ちしています。

文・丹野　雅之

■ 都内森めぐりコース ■

※現在、新規受講生は募集していません

入門編

都内の公園で森 に親しみを感じていただき、理解を深めていただく 講座の、今年度の第４回目は山手線から離れて、東急大井町線沿線の等々力渓谷です。ここは東京都の「名勝」指定されていて、また東京 23 区内唯一の渓谷という名前がついた公園です。

渓谷は武蔵野台地の中にあり、崖線斜面では、シラカシ、ケヤキ、ムクノキ、台地面ではイヌシデやコナラが多く見られ、湧水が流下する緩斜面ではセキショウやシダ類などの水辺の植物が見られました。

また斜面には関東平野の特徴が見られる地層を観察したり、横穴墓や古墳を見たりして、昔の人々の暮らしを考えました。休憩も兼ねて笹舟を作り、参加者同士で出来栄えを競い合ったり、葉を使った音鳴らしゲームなども行い楽しみました。

この渓谷は春の桜と秋の紅葉が見どころですが、快晴の気温 35 度の猛暑でも渓谷の谷沢川沿いでは、気温が 2～3 度低くなり、夏に歩く魅力を再発見しました。水分補給を頻繁に行いながら、楽しく観察会を終えることができました。

文・湯浅　泰博

【長野本校】やまぼうし自然学校 インタープリター養成講座レポート

「目指せ！キャンプの達人」と銘打って、第２回はやまぼうしのキャンプで大切にしていることの講義の他、キャンプ道具の取り扱いやリスクマネジメントを行いました。もちろん昼食は豪快焚き火料理。持ち寄った野菜を並べ、メニューからみんなで考えます。休日コースは盛り付けにもこだわりが光りました。午後は協力してテントをたてたり、ロープワークを練習。ロープワークは、得意な方が先生になって教えあう場面も見られ、皆さんの知恵と経験が、講座をより楽しくしてくれました。

講義を終えて「その子に合わせるという姿勢がいいですね。私がやったことあるのは、子ども達はやらなくてはいけないことがいっぱいで忙しく、スタッフはその準備で忙しいというキャンプだったので、この自由な感じがいいなぁ。」という感想がうれしかったです。そして焚き火料理を囲みながら「勉強もできて、おいしいものも食べられて、楽しいなぁ」とみんな笑顔になりました。

文・加々美　貴代

◆ 第５の回のご案内　◆日時：１１月 14 日（水）/11 月 18 日（日）
内容：森づくりの意義、道具の取り扱い、間伐体験、間伐材の利用（クラフト制作）

やまぼうしインプリ発信

やまぼうし自然学校インタープリター　森田 十三蔵

「こんにちは！やまぼうし自然学校インタープリターの森田です。キャンプネームは〝ゾウさん〟です。よろしくお願いしま～す。」
活動時は、こんな自己紹介からスタートします。

まずは貴方に、質問です。「自然体験は、好きですか？」
自然体験と言っても、森遊び・キャンプ・クラフト・登山など色々とありますが、「はい。」と、答えて頂いた貴方に負けない位、私も大好きです！

私は、幼い頃から、木登り・川遊び・虫取り等、辺りが暗く成るまで遊んでいました。未だに、木登りだけは頻繁にしています！庭木のお手入れを主とする、造園業に従事しているからです。一日中緑を相手に作業をしていますので、生い立ちからすると、理想的な職業です。時には、ハチや毛虫やハトとにらみ合いにもなりますが…。

そんな生活が１０年位続き作業には慣れてきたある日、自然環境について一度専門的に、勉強してみたくなりました。そして、2007 年にやまぼうし自然学校の森林インストラクター養成講座に出会い、現在は東京支部のインタープリターに至っています。講座受講前は、日本には多くの山々が有り、自然環境には恵まれていると漠然と考えていました。講座が進むにつれ、地域により様々な問題を抱えている実状を知りました。

講座終了後も東京支部の活動に参加し、時には住まいのある熊谷から長野本校にも足を延ばし、活動の度に様々な学びがあります。

長野本校での活動で、未だに印象に残っていることがあります。私がスタッフだったキャンプに参加していた子と、翌年のサマーキャンプで再会したのです。お互いに覚えており、アイスブレイクゲーム以上に打ち解けて、より一層やる気が出たのを覚えています。前回のキャンプが楽しかったと、評価してもらえた気がしました。そして、活動参加後のスタッフの評価会の積み重ねが、以降の活動時の注意事項となり、また、受験時の「野外活動」や「安全・教育」の生きた情報となりました。後々、森林インストラクターの資格を取得する事が出来ました。

それからしばらくして、これまで身に着けた養成講座の、主に「森林」の知識とやまぼうしの登山や観察会で得た知識を活かし、造園業の為にもと、「樹木医」試験を、受験しました。とにかく難しいと聞いていましたが、まずはチャレンジ…と！しかし、テキストを読み進め過去問題を解こうにも、問題文の語句が解らない有様！長期戦覚悟で臨みましたが、中だるみやストレスが溜まるばかり…。

そんな時も、気付けばやまぼうしの観察会等に参加して、樹木のそばにいました。それだけでも、私にとっては癒し効果バッチリでした。ちなみに針葉樹林でしたら、本来の森林浴効果があります。また、東京支部の活動の一つである、里山管理作業指導のアシスタントが、とても貴重な経験になっています。荒れた里山を再生するための作業内容を体験し、樹木の萌芽更新の経過を見ることもできました。時には、伐採がストレス解消にもなりました。最終的に認定証が手元に届いた時には、うれしさと私でもなんとかなると、自信が付きました。これまでの活動経験が、とても参考に成りました。

経験も知識も少しずつ積み重ねるにつれ、より多くの方に自然体験に参加して頂きたい思いが増してきています。出来る事なら、小学生のうちから森の中で遊ぶ醍醐味を、味わってほしいです。そして勿論、大人になっても森で遊ぶことは楽しいですし、発見もいっぱいです！これは私自身が体験し、スタッフとして活動を続けている理由でもあります。

まだまだ知らない事も沢山有りますが、今後もやまぼうしの活動に協力し、自然体験活動に参加して下さる皆様へ、より多くの自然の楽しさ・すばらしさ、＜魅力＞をお伝え出来る様、私自身も楽しんで行こうと思っています。

「さあ皆さん、もっともっと自然体験のすばらしさを、私達と一緒に満喫しませんか？」

週刊うえだ　の一面に掲載されました

「元気を発信している団体や個人を、掲載しているので、ぜひ取材させて下さい。」そんなうれしいご依頼をしてくださったのは、週刊うえだの編集長さん。こんな泥まみれ、汗まみれ、煙まみれな私たちが、表紙モデルになる日が来るなんて！地域の方々に、活動を知っていただく、絶好の機会となりました。上田市内と周辺地域に 73,000 部も配布されている情報誌なので、新しいつながりを運んでくることを期待しています！

＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋＋会員と読者の交流ステージ＋＋＋＋＋

やまぼうし自然学校理事　笠原文則さんより・・・

全日本釣り団体協議会主催

◆ 釣りインストラクター 平成 24 年度講習会 および 認定試験 ◆

釣りの技術はもちろん、マナー、水産資源の保護、環境保全・安全対策の指導など,釣りの健全な発展を目指す資格。20 歳以上ならどなたでも受験可。

■養成講習会　【東京】９月 29 日（土）～30 日（日）東京海洋大学品川キャンパス
【長野】11 月３日（土）～4 日（日）　大原学園長野校
【大阪】平成 25 年１月予定　ヒューマンアカデミー大阪心斎橋校
※資格試験は２日目講習終了後に、午後から同じ会場で実施

■問い合わせ・申込先
社団法人　全日本釣り団体協議会
電話　03-3265-4191　　e-mail　jimukyoku@zenturi-jofi.or.jp

原人キャンプ　満員御礼

■菅平原人の掟■

その壱　必要なものはつくるべし
その弐　自分の心の声を聞き、口にだしてみるべし
その参　森のおもしろさをたくさん見つけるべし
その四　森の声を聞き、「おじゃまします」の心をもつべし
その伍　仲間の声を聞き、みんなが楽しくなる工夫をすべし

帽子に原人ネームと羽のついた原人バッチをつけたら、「菅平原人」に変身！今年も、遊びつくす気マンマンで、目を輝かせた原人たちが、菅平高原にやってきた。今年は、おかげさまで満員御礼。原人の掟を胸に、テントの建て方、トンカチやノコギリ、包丁の使い方を習得し、火を熾し、沢に飛び込み、森を駆け回る原人たち。

たとえ足場の結び目がゆるくても、そのグラグラを楽しんだり、改良したり、何より自分たちでつくるのが楽しい。木に登れない子に、スタッフが手を貸すこともしない。登れない木からは、降りられないから。でも、背の低い子の為に、下の方から手すりをつけてくれたり、やさしさが光る場面がたくさん。ひょいひょいと登る高学年への羨望の眼差しも、いいなぁと思う。軽トラックで資材を運んでいたら、「原人なんだから、自分で車もつくらなくちゃダメじゃん！」とも！

リピーターの保護者のアンケートの中に、「“これは乾きやすい服だから沢遊びで着よう”などと、準備から工夫して楽しそうでした」というコメントがあった。大人が指示するのは簡単だけれど、小さなことでも自分であれこれ考え、悩むって楽しい。

このキャンプの間、スタッフに「やって～」とか「どうすればいいの？」と助けを求める声はだんだん少なくなっていく。最初は「次、何するの？」と聞いてくる子もいるし、「やって★」とかわいくほほえむ子もいる。でも、「何がしたい？」「まずは自分でやってごらん」と返答しているうちに、徐々に変わっていく。小さな成功体験の積み重ねが、次の挑戦への火種になっていく。

できるだけ、大人が決めた予定で動くのではなく、子どものペースで進むキャンプを目指している。そして「やってみたい！」を大切にしたいので、突拍子もないアイディアでも、どうにか形にできないか一緒に頭をひねる。先回りして安全を確保したいのをぐっとこらえ、原人たちの力を信じる。もちろんそれができなくて、「あ～、余計なことをしてしまった」と落ち込むこともある。でも、自然から、子どもから、たくさんのことを学んで、スタッフも一緒に育っていきたいと思う。そして原人キャンプは、日常では森から少し離れた現代人でも、いつでも森を駆け回る原人になれる、ワクワクの場所でありたい。あ～、楽しかった。

文・佐藤　明希

イベント情報

♪　秋のいつでもガイド　♪
●秋の森散策　　●森のクラフト

さわやかな秋風とともに、実りの秋を満喫しましょう。ご希望日の３日前までに、体験希望日と時間帯、希望プログラムお知らせください。都合により、催行できない日もありますので、事前に必ずご予約ください。

長野本校

日にち　　９月　～　11 月　の希望日　※1 名様より催行
時間　　①9:30 ～ 11:30　　②13:00 ～ 15:00
集合解散場所　上田市菅平高原　やまぼうし自然学校事務所
参加費　　小学生～大人　１人 2,000 円　幼児無料　※保護者の同伴が必要です
申込み締切　　実施日の３日前まで

♪　森でモリモリ遊び隊まつり　♪

遊び隊隊員が、楽しい野遊びとおいしい焚き火料理をおすそ分け。みんなで遊びましょう。

長野本校

日にち　　10 月６日（土）11:00～15:00
場所　　菅平高原　自然体験の森
参加費　　入場無料！※一部有料コーナーあります
持ち物　　主食（おにぎりなど）、お椀、お皿、箸（遊び隊鍋のおふるまいがあります）

♪　三浦半島　猿島自然観察会　♪

東京湾唯一の無人島へ！自然観察と歴史建造物探訪が楽しめます。
ビーチコーミングで見つけた貝殻やシーグラスのクラフト制作体験つき。

日にち　　10 月６日（土）　8:30～15:00　※少雨決行
集合場所　　京急　横須賀中央駅

参加費　　18 歳以上　4,200 円
（ガイド料、資料代、定期船乗船代、クラフト代）
募集人数　　20 名（先着順）

東京支部

♪　炭焼き＆窯ピザづくり　♪

地元の炭材を使って焼いた炭のかき出しを体験します。炭をかき出したら、炭窯は大きなピザ窯に変身！できたてほやほやの炭や、観賞炭のお土産付き！

長野本校

日にち　　10 月 13 日（土）10:00～15:00
集合解散場所　菅平高原　自然体験の森
参加費　　大人　3,000 円、小中学生　2,000 円、幼児無料
※翌日のキノコ狩りもご参加の方は、セット割引あります
２日間特別価格　大人 5,500 円、小中学生　3,500 円
※宿泊ご希望の方はご相談ください
申込締切　　10 月 10 日（水）

やまぼうし自然学校の会員の方は・・・
◆長野本校イベント　毎回参加費１０％割引
◆首都圏イベント　　毎回参加費１０％割引！さらに、３回参加で次回５０％割引

♪　キノコ狩り＆キノコ料理三昧　♪

とっておきの森を、五感をフルに使ってゆったり森を歩きながらキノコを探します。

日にち　　10 月 14 日（日）10:00～15:00
集合解散場所　上田市真田町傍陽　入軽井沢館
参加費　　大人　3,000 円、小中学生　2,000 円、幼児無料
申込締切　　10 月 10 日（水）

長野本校

♪　いも掘りと本場の芋煮＆焼き芋　♪

食欲の秋は、やまぼうしの畑で掘りたて芋をたらふく！　たくさん採れたらお土産に！

日にち　　10 月 27 日（土）10:00～15:00
集合解散場所　上田市真田町
参加費　　大人　3,000 円、小中学生　2,000 円、幼児無料
申込締切　　10 月 10 日（水）

長野本校

♪　自然の蔓で編む、森のカゴ編み　♪

自然の蔓を森で採取して、オリジナルのカゴを編んでみましょう。初めてでも簡単！

日にち　　11 月３日（土）10:00～15:00
集合解散場所　上田市　塩田運動公園
参加費　　大人　2,000 円
申込締切　　10 月 31 日（水）

長野本校

♪　森あちょびクラブ　③　♪

幼児と保護者向けの自然体験。焚き火を囲んで、ほかほかおやつづくり

日にち　　11 月 11 日（日）10:00～14:00
場所　　菅平高原　自然体験の森
参加費　　親子１組　1000 円
申込締切　　11 月７日（水）

長野本校

♪　国分寺自然散策会　♪

国分寺崖線を歩く人気シリーズ第４弾！ついに、野川の源流を訪ねます。
武蔵野の面影を残す日立中央研究所庭園の公開日（年２回のみ！）に合わせて実施します。

日にち　　11 月 18 日（日）　9:30～15:30　※雨天中止（研究所公開が中止の為）

集合・解散場所　国分寺駅改札

東京支部

コース　　国分寺駅　―　日立中央研究所　―　姿見の池
―　東山道後援（予定）　―　国分寺跡　―　お鷹の道　―　国分寺駅
参加費　　18 歳以上　3,000 円（ガイド料、資料代）
募集人数　　30 名（先着順）

スタッフよりひとこと

瑞慶覧明子（ずけちゃん）
雨予報でも決行した谷川山系のプライベート登山。
沈みがちな気持ちを吹き飛ばしたのは、停滞を余儀なくされた山小屋で管理人から聞く四方山話。
景色が見えないと価値半減と思ってた山歩き。出会いという“晴れ予報”がある！これからは、雲の中でもパラダイス！

佐藤明希（あっきぃ）
サマーキャンプにて、すぐ疲れる大学生のキャンプアシスタントがたくさん…。その一方で、女子大生なのに「男だろ！」と小学生に喝を入れられ、深い沢に勇気を出してドボン！スリル満点ターザンロープに必死でしがみつきビューン！大人も本気で遊ぶと、キャンプがすごく楽しくなる。大人も遊ぼ！遊ぼ！

西澤純子（じゅんじゅん）
やまぼうしのスタッフは、どんなに忙しい時でも、ふと手をとめる瞬間がある。空の色が綺麗な時、雲が不思議な形をしている時、可愛い鳥が遊びにきた時、月が綺麗に見える時…。小さなことだけど、とても幸せな時間だと思う。
こういう時間をこれからもずっと大切にしていきたい。

吉岡明美（けみちゃん）
子ども達の遊びの中で発足した「日本落とし穴協会」。数々の大人を落とそうとする子ども達に抵抗して「大人をなめるなー！」と言ったら、「子どもの本気をなめるなー！！」と返された。森、という少しのきっかけと、素敵な仲間がいれば、なんでもない遊びもこんなに楽しくなるのだと再確認した。

保母裕美（ほぼちゃん）
夏休みに家族キャンプに挑戦しました。新調したもの、学生の頃使っていたものといろいろ準備してキャンプ場へ！
日頃から準備は慣れていてもいざ自分がキャンプするとなると要領が悪く、何をするのも時間がかかり・・自分も楽しめるキャンプにしたいです。

石川順子（じゅんこさん）
８月末、栂池高原遠征で久々に乗車した“あずさ”は、夏山シーズンとあって大きなザックの登山客がわんさか。白馬駅からの帰路、ひとり旅の小学５年生の乗り鉄少年と会話が弾んだ。時刻表片手に大糸線車窓からの景色を熱心に解説。これも立派な体験活動だね！

仲川好乃（よっちゃん）
こころに響いたひとことをご紹介します。
「おかれた場所で咲きなさい。今、咲けなければ下へ下へゆっくりでもいいから根を張りなさい。次に咲く、花のために。」

長谷川功（はせじい）
齢 64。元気元気と言っても所詮カラ元気。満 65 歳まであと１年。勝手気ままな放浪生活を許してくれた家人の元へ、里心のついたはせじぃです。新生やまぼうし自然学校の立ち上げに参加できたことを誇りに思います。蛇行しながらも前進可能な体制になったのではないでしょうか。頑張ります。